

あやめちゃん

ふみかちゃん

R-18
adult only



プロデューサー殿にとって
あやめは
どういったところに
いるのでしょうか――

そのようなことを
この頃はしぼしぼ
考え込んでしまうのです

むむっ
雨が降って
きましたね

今日は久しぶりに
正宗が使えますね
素晴らしいっ

プロデューサー殿は
たくさんの
アイドルの皆さんを
プロデュースしていて
そのみんなはとても
充実しているようです

あやめも忍ドルとして
とても充実した
日々を送っています

そのこと自体は
とても とても
よいことなのですが…

プロデューサー殿にとって
あやめはその中の
一人でしか
ないのでしょ…？

はっ
いけませんこのようなことを
考えては！

一石十鳥の言葉どおり
プロデューサー殿には
たくさんのものを
いただいているというのにつ

どうしたの
あやめちゃん？



ああああ
愛梨どのっ



そんなに
驚かなくても
いいのに……

うう……
忍ドルであるわたくしが
後ろを取られるなど……!

そんなに
何を考えてたの？



えっ！
いやその……

なっ
なんでも
ありませんっ

もうっ
先輩に遠慮しちゃ
駄目だよ？
ほらほら話してっ



うう……

プロデューサー殿と
一番付き合ひの長い
愛梨どのにこんなことを
話してよいものか……



でも

愛梨どのの口から
そうだと聞われれば
……あやめは忍ドルとして
そちらに集中できます



それはきつと
よいことのはずで
……ならいっそ……



あの……愛梨どの……!

数日後
ライブの控え室にて――

あやめっ
ライブお疲れ様っ

プロデューサー殿っ
いらしていたのですか！

…しかし今日は
たしか愛梨どのと
拓海どのと
一緒だったのでは？

あーそれなんだけど
アイツがな…

わたしたちなら
二人で大丈夫ですっ

もう一人前なんですから
他の子についてあげて
くださいっ
あやめちゃんとかっ

…というわけで
ちよつと何かやらかさないか
不安だったけど
拓海もいるしってことで
こっちに来たんだ

愛梨どの…あの日
あやめのことを
応援してくれると
言った通りに…
ならば応えるべき
はずですが…っ

アヤメちゃん…

おーい
始まるぞー

ああしかしあやめにはまだ早いような
しかもこのような場所であんなに
いくら時間的にも余裕があるとはいえ
つてそれ以前にライブが
終わっただばかりで
汗だくではないですか！
さすがにこれは
プロデューサー殿も
嫌がるに決まっていますし
そうですわ今日のことろは
諦めてっ！

どうした
あやめ？

ひゃうううっ!?

うわあ
あやめっ!?



正直に言えば
忍ドルというものは
多くの人に
受け入れられるもの
ではないと
思っております

ですがプロデューサー殿の
おかげでみんなに
応援されるようになって……
とても感謝しているのです

でもあやめの力だと
言うのなら……

ごほうびを
いただけませんか……？

それはあやめがすごく
頑張ってきたからだよ
俺の力じゃない

ふふっ
あなたならそう仰ると
思っております！

あやめ……

………っ

……わかった
でもこんなところで
いいのか？

じつ時間を空けるなんて
あやめには無理ですっ
恥ずかしいには違いないですけど
どうかここで……お願いしますっ

そっか
……じゃあ
こっちへおいで



プロデューサー殿が
そんな助平な方だとは
知りませんでした!



ええっ!?



あうっんっ
そんな隙間からなんて
んんっ



...直接触られて
どう?...





ですがひああっ！
いけませんっ
ライブ直後で汗が……！

いやらしいことを
してるんだから
当然だろ？

おっ



ひっんっあうっ

プロデューサーどのっ
手つきが……いやらしい……



あやめの汗なら
おいしいよっ！

何を言ってるのですか
もおっ ばかあっ！



……あの
なぜマフラーを
つけたまま
なのですか？

そっちの方が
興奮するからだよあやめ！

やはりプロデューサー殿は
助平です……っ

トキ

トキ



脱がさないと
これ以上は無理かな……
いいよね？

は……い
脱ぎます……から……っ

俺のことスケベって言うのはその通りだけどあやめだつてくの一なんだから房中術くらい使えないとなー？

ああやつぱり意味はわかってるんだ…じゃあ練習しないとな？

そつ…それは…つ

…よろしく
お願いします…

もちろん喜んでっ

ううつ
そ、そんなものは…

ひつうんつやつ

やああ…あんつ！

気持ちよさそうだね
あやめ

しっしりませんっ
きもちよくなつてなど…！

じゃあもつと
してあげなくちやなーっ

ひやつ ぐうんつ！
直接中になんて…っ



はい...あやめは...
覚悟を決めております...っ

いくぞあやめ...
もう止まらないからな



あ...あ...あ...
あやめの...
あやめ...っ



あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...
あ...あ...あ...



あやめを…
舐めて…

うわ…すごいよあやめ
すっかりえっちな
顔になってる

あやめの乳首
おいしいよ

そんなことはっ
ありません…っ
えっちな

そういってあげたいけど
しどいてあげたいけど

ひよんなこと
ありまひえんっ

この顔じゃ
説得力ないけどな



痛いかな？

へいき……ですっ
このくらいの痛みなど
全然……っ

でも
痛いなら……

いいえ
この痛みも恥ずかしさも
嬉しさも……
すべてあなたの
与えてくれたものです



今までと同じように
そう思えば……
あやめは幸せですっ



……あやめっ！



わっあーあーあー
こわいっ
こわいですっ

ん？
なにが怖いんだ？

あやめがあやめで
なくなってしまうそうで……
こわいのですっ

あやめ
あやめ
あやめ

あやめ
あやめ

大丈夫だよ
あやめはちゃんと
ここにいるよ



うおっ？

お願いしますっ
もっともっと……あやめが
どこにも行かないくらいにっ

わかってるよ
もっと強く抱きしめて
いいんだ……

あやめ
あやめ



いいんだよ
もつとそうなつてくれたら
俺も嬉しい

ですがっこんないやらしい姿を
プロデューサー殿にい

あやめのいやらしいところ
見たいんだけどな

はい...
ですがぞくぞくするのが
止まりません...っ

どうだ？
落ち着いたか？

奥にいつぱいっ
届いていますっ

あやめのなかが
いつぱいになつてっ

こつこつって
一番奥叩かれていますっ

ああ…
あやめは今この人と
一番深くでつながって
いるのですね…

今この瞬間誰よりも
プロデューサー殿の
近くに…っ

あの…プロデューサー殿…
キスをしてください…っ



色々なはじめてが
プロデューサー殿で
すごく嬉しいですっ
♡

今のがあやめの
ファーストキス
なのですよ♡



……ふふっ

ん？



ふふふ



んむっ
んむっ
んむっ

キモチいいですっ♡

んむっ♡

んむっ
んむっ

んむっ

んむっ
んむっ



その笑顔反則だな…っ
何回でもしてあげるよ！

しあわせすぎてっ
あやめはもおお..
もおだめですっ

ああっ!
そのままダメになれ....!

ひっあっあっあっ
奥からきてるよおっ

やっあ
あ

あやめの中にいっぱい
プロデューサー殿のせーえきが
出ちやってる...う

あ
あ

あ
あ



すみません……っ
わたしは思っていることを
言葉にするのが……
得意ではないので……

いやうれしいよ
もつと文香の言葉で
教えて欲しいな

はむ……んっ
はあ……っ

はい……

あの日……
うちの古書店で
体を重ねてから
もう何度目でしょう……

時にはあの店で……
時にはあの人の部屋で……
時にはホテルなどにも……
足を運びました

テレビ局のトイレや……
控え室などでも
求められれば応えて……

そして今は誰もいない
深夜の事務所で……

文香
またおっぱい
大きくなってないか？

どう…でしょう
測っていないので…

今度新しい衣装も着るし
確かめておかないとなっ

んっ…ふうっ…
触りたいだけの
くせに…

まあな！
文香の胸は弾力もあって
柔らかさもあって
いくら触っても
飽きないからな

ひっ…うっ…んっ

や…先をそんなに
引っ張られる…とっ

——られると
気持ちよく
なっちゃうんでしょ

気持ちよさそうな顔だな
…かわいいよ

わっはっ…♡



プロデューサーさん…
胸を触るの…
好きですね

ん?
もちろんだけど…
でもこっちも好きだよ

んあー



んー
もうすでにぐちやぐちやだ
エッチだなあ文香は

やっ
も…う…んんん

あなたが…しつこく
胸を触るから…っ

んあー



やっん…
乳首舐めないで…っ



お…指でイキそう
なんだな？

腰が指欲しさに
どんどん前に出てるよ？
嘘はいけないなあ

そんな…こっつ

ほらっ
いつちやえ！



は…ああ…っはっ…

…イクとき
声抑えるの
やめにしないか？

その…あの日店で
した時から
声を出さないように
するのが
癖になってしまっ…

この事務所は
さすがに
アイドル事務所だけあって
防音はしっかりしてるよ？

わかってはいます…
わかってはいます
けど…



プロデューサーさんに
これ以上は…
はしたない女だと
思われたくなくて…

…文香！

はい…？

そんなこと言われたら
声出させなくなるだろう！？

え…ええ…？



まだ声抑えてるのか...
ならっ

ぐっぐ...!?
やつ突きながら...
そんなところ...っ



ほらっこれでどうだ？
気持ちいいだろ？



んー？
聞こえないなあ？？



ほら
我慢せずに声出して...
気持ちいいんだろ?

まだ抑えるのか
それなら...



子宮の中いっぱい…
なのを…感じます…

ふう…
文香のかわいい声
いっぱい聞けて
すごく嬉しかったよ



もう…言わないで
ください…

ん…

文香…
恥ずかしいのはわかるけど
どうしてあんなに
意地になつて？

それは…その…



いつも…わたしばかり
気持ちよくしてもらっているので…
少し我慢して…
プロデューサーさんも
良くなつてもらいたい…と

わたしで
気持ちよくなつてくれるのは…
とても…嬉しいことなので…

よし
じゃあもう一回
気持ちよくして
もらおうか！

えっ

文香がそこまで
言うなら
仕方ないな！

ええ…っ

たのめ

■あとかき■

はじめましてこんにちは、極太眉毛です。

こちらの本は2013年冬コミに発行した本の加筆修正版になります。

コミケ終了後に早め早めに完成させようと思っていたのですが、二月ごろにちょっと家の都合で引っ越さないといけなくなりましてその後のどたばたでとても完成が遅れてしまいました。

本当に申し訳ありません。

やり始めてみればこれも数日だったのですが…本当にすみませんでした。

pixivやtwitterなどでも中身が未完成だと告知していましたが、その上で買ってくださった方々、知らずに買って落胆された方、本当にすみません。そしてありがとうございます。お待たせしました…

あやめちゃんと文香で絡ませるのはすごく難しいな、と思っていたのでこれまでと違い

二人を分けて描かせていただきましたがどうだったでしょうか。

個人的に複数プレイは描くのに大好物なので悩みましたが、これはこれでよかったかなと今は思います。

文香もあやめちゃんもえっちなことに積極的でないと思いますし…文香はまあ、教えればわりとどんどん吸収していきそうな空気感じておりますが…！

あやめちゃんにはセクハラして怒られたいけど主君に仕えるのが忍びだよね??とか言って耐えてもらいたいです。

そういうのも描きたいですね…

それでは、短い挨拶となりますが、これで失礼します。

2013年の夏コミで買われた方も、DL販売で買ってくださった方もありがとうございます！

では、夏コミの原稿を頑張ってきます！！

2014.6.24 極太眉毛



あやめちゃん
と
ふみがちゃん